

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 樹のん		
○保護者評価実施期間	令和8年1月12日 ~ 令和8年1月29日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年1月12日 ~ 令和8年1月29日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月30日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容の充実	活動内容が固定化しないよう、主に運動・制作・SST・音楽・イベント行事等の内容を軸に日々の活動を実施している。活動を通してお子様が様々なことに挑戦したり体験する機会を増やしながら、自信をつけたり、感受性を育めるよう支援を行っている。また将来を見据え、日常生活動作やコミュニケーション活動等も取り入れ、実際の生活場面や日常生活等関連付けながら活動を実施し、活動を通して学んだり体験したことを実際の場面でも汎化できるよう支援している。	さらに職員一人一人の専門性を高められるよう、研修への参加や職員の学ぶ場を増やしながら、子どもたちに寄り添い、充実した活動内容の実施を行えるよう取り組んでいく。
2	放課後等デイサービス計画に沿った支援	個別支援計画を作成する際は、保護者の方またはお子様と面談を行い要望や希望等について確認を行っている。また職員間でお子様の状態について確認を行い、お子様の課題や個々に合った具体的な支援方法について話し合い、支援内容を明確に提示し、職員間で共有を行っている。計画作成後は内容について保護者の方へしっかりと説明を行った上で支援を実施している。実際の支援場面でも職員間で連携を図りながら個別支援計画の内容に沿って支援を行うと共に、お子様の様子や成長が見られた部分、支援内容とお子様の状態に相違がないか等について日々記録している。それを踏まえて、モニタリングや次回の個別支援計画の立案を行っている。	引き続きお子様や保護者の方の要望や希望を確認しながら個別支援計画の作成を行っていく。併せて個々のお子様の状態に応じた支援や目標設定ができるよう複数の職員でお子様の状態について確認、話し合いを行なながら個別支援計画の立案、また日々の支援を行っていく。
3	お子様や保護者の方からの要望等を取り入れた、活動内容や支援。	お子様や保護者の方からの要望等を可能な限り取り入れながら支援している。お子様とは個々で話をする機会を設けながら挑戦したいこと、やってみたいこと等を確認し、活動時間や自由課題の際に取り組む時間を設けている。その中で支援者と個別にかかわる時間を設け信頼関係を築いたり、取り組んだことをみんなの前で発表する機会を設け自信に繋げられるよう支援している。また、保護者の方からの要望については、必要に応じて個別活動の時間を設定し個々のお子様に応じた課題に取り組んでいる。取り組んだ内容やできるようになったこと等についても連絡帳等や帰りの引継ぎの際に保護者の方へ伝達または共有を行っている。	引き続きお子様が楽しみを持って樹のんを利用できるよう、集団活動だけではなく必要に応じて個別活動の実施や、やってみたいこと・できるようになりたいこと等、お子様が自主的に取り組める活動や挑戦できる時間等を確保しながら支援を行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期休み(春休み・夏休み・冬休み) 以外での外出の機会が少ない。	開所日が月曜日～金曜日で土日が完全休みの為、朝から利用できる日が限られてしまう。 ※祝日(月～金)は開所し外出の機会を確保。	現在ご利用中のご家族の方からのニーズは無いが、今後、土曜日の利用を希望されるご利用者がいらっしゃった場合は、土曜日も開所する事を検討していく。
2	言語聴覚士等による専門的支援が充実していない。	職員に言語聴覚士が居ない為、言葉等についての専門的な支援を行なうことが出来ていない。	現職員で出来る範囲で言語や発語に関するサポートをしつつ、必要があるお子様に対しては、言語聴覚士が充実している他事業所さん等とコンタクトを取り紹介等を行なう事も検討していく。
3			